



コハクチョウ（カモ目カモ科） *Cygnus columbianus*
オオタカ（タカ目タカ科） *Accipiter gentilis*

写真・文 高村 省巳

日本で越冬する白鳥はオオハクチョウとコハクチョウの2種類で、特徴で区別できます。

クチバシの形状から、オオハクチョウは黄色部分が多く、また鋭く先の黒色部分に食い込んでいて全体が細長くなっています。それに対し、コハクチョウは黄色い部分が少ないとされています。

日本で越冬する8～9割は、コハクチョウがしめるようです。

この写真は、群馬県館林市のガバ沼で、越冬のため飛来している白鳥を早朝から撮りに行った時のものです。

白鳥の群れが水面に漂っていたところにオオタカが来襲した、街中の沼では珍しい瞬間を撮ったものです。